

## 指定管理者評価シート

## 一 管理運営の状況

1 施設名	仙台市郡山デイサービスセンター
2 指定管理者	社会福祉法人仙台市社会福祉協議会
3 指定期間	平成29年4月1日～令和4年3月31日
4 施設の利用状況	《利用者数》 令和2年度 5,835人（前年度比99.4%） 令和元年度 5,871人（前年度比99.3%） 平成30年度 5,886人（前年度比98.7%）
	《事業》 市内に住所を有する身体が虚弱なため日常生活を営むことに支障がある方に対し、通所介護、第一号通所事業等のサービスを提供し、便宜を供与する。
5 収支の状況	《費用》 （ ）は前年度決算額 ・ 指定管理者に支払った費用 ※利用料金制を採用しているため、指定管理料の支出はない。 ・ その他市が負担した費用 40千円 （4,816千円）
	《収入》 ・ 介護保険収入 52,250千円 （47,253千円） ・ その他収入 2千円 （4,052千円）
6 利用者の声	《実施状況》 令和3年2月～3月に利用者アンケートを実施した。また、送迎時の聞き取りなどにより、利用者及び利用者家族の要望などを把握し、事業運営を行った。

## 二 管理運営に係る評価

(モニタリングシートの結果によって評価)

評価分野	所見	評価
I 総則	デイサービスセンターの設置目的を踏まえた基本方針に基づき施設運営がなされており、職員も設置目的を適切に理解している。 また、利用者の健康相談や公平・公正な利用、要介護者の心身の特性に配慮した対応に努めるなど、利用者本位の施設運営を行っている。	30/30
II 施設の運営管理体制	必要数の職員が配置されており、職員間では円滑な連携が図られ、適切に運営されている。経理書類も適正に作成されている。 また、個人情報の漏洩や滅失を防止するため、管理責任者を定め職員への周知等の意識啓発を行うなど、個人情報保護に対する体制を整えている。 事故や災害の発生に備え、対応マニュアルの策定、連絡体制の構築等の取り組みを行っている。	24/24
III 施設・設備の維持管理	利用者の安全・安心・快適な利用を維持するため、建築物の保守点検や施設内外の清掃を適切に行い、事故防止のための館内巡回も行われている。 また、節電やごみ発生の抑制、グリーン購入を実施するなど、環境に配慮した施設運営を行っている。	24/24
IV サービスの質の向上	利用者が気持ちよく利用できるよう、丁寧な対応と分かりやすい説明を心がけている。 また、利用者の意見や苦情に対し、対応手順や担当者を明確にするとともに、市が実施する利用者アンケート、送迎時の聞き取り等により利用者のニーズを把握するなど、利用者の意見を反映した施設運営に意欲的に取り組んでいる。さらに、広報誌の発行などを通じ、利用者等への情報提供や施設のPRも積極的に行っている。	28/28

<p>V 施設固有の基準</p>	<p>介護技術向上のための定期的な研修や、職員間での情報交換など、サービスの質の向上に向けた取り組みを行っている。</p> <p>また、関係機関と連携して定期的に会議を開催し、日常的な連携体制を構築しており、関係機関からの情報収集と利用者への情報提供に努めている。</p>	<p>8/8</p>
------------------	--	------------

### 三 評価総括

<p>《指定管理者（社会福祉法人仙台市社会福祉協議会）による自己評価》</p>
<p>介護保険法に規定する在宅要介護高齢者等の方々への通所によるサービスの提供により、高齢者福祉の向上を図るとともに、利用者が住み慣れた地域で安心・安全に暮らせるよう支援に努めた。</p> <p>また、新型コロナウイルス感染症対策について日々検討し、必要な物品（アクリル板・消毒液・マスク、空気清浄機、自動体温測定器等）を購入し、安全に利用していただける施設の環境整備に努めた。</p> <p>そのほか、以下のとおりの取り組みを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者アンケートを通じて利用者のニーズ把握を行い、利用者の個性や能力に合わせたプログラムを作成するなど、質の高いサービスの提供に努めた。</li> <li>・機能訓練手帳を作成し、機能訓練の状況を利用者家族にお伝えすることで、訓練の進捗状況の共有と課題の把握に努めた。</li> <li>・快適で安全な施設環境づくりとリスクマネジメントの推進に努めた。</li> <li>・ヒヤリハット事例を積極的に提出し、職員間で事故防止のリスクマネジメント対策を共有した。</li> <li>・施設や車両等、利用者が触れる可能性があるもののリスクを職員間で共有し、リスクの顕在化抑止に努めた。</li> <li>・地域における社会資源との連携・協働の推進に努めた。</li> <li>・地域におけるボランティアの養成、高齢者の社会参加・社会貢献への支援を行った。</li> <li>・ボランティアの積極的な受け入れに努めるとともに、太白区ボランティアセンター等と連携しボランティア交流会を開催し、シニアボランティアの育成に取り組んだ。</li> <li>・福祉避難所の開設マニュアルの確認。</li> <li>・利用者増に向けた適正な収益確保と職員の資質向上と組織力の強化に努めた。</li> </ul>

<p>《施設設置者（仙台市）による評価》</p>	<p>総合評価</p>
<p>令和2年度の管理運営について、協定書及び仕様書に従って適切・良好に行われた。</p> <p>利用者アンケートを通じた適切なプログラムの作成や、機能訓練手帳を活用した利用者家族への情報提供などの取り組みを行っており、利用者本位のサービス提供に積極的に取り組んでいる。</p> <p>また、新規の取り組みとして、生活支援通所型サービスの日数の増加を実施しており、新規利用者の獲得につながった。</p> <p>そのほか、併設する老人福祉センターのボランティア受入れによるシニアボランティアの育成や、中学生の職場体験や大学等の実習生を積極的に受け入れるなど、関係機関と意欲的に協力しており、総合的に高く評価できる。</p>	<p>S</p>

### 四 その他特記事項

（上記評価項目の他に、指定管理者の優れた取り組み等、特に記載すべき事項があれば記載する）

<p>特記事項</p>
<p>「業種別ガイドライン」に基づき、感染拡大防止に留意した施設運営を行った。</p>

◎ 評価担当課（施設所管課）：健康福祉局保険高齢部高齢企画課